

## パレスチナのガザ地区における即時停戦を求める決議

今年 10 月 7 日に始まったイスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの大規模衝突により、パレスチナ自治区・ガザ地区において、市街地に甚大な被害をもたらしているとともに、人命が深刻な危機にさらされている。

この状況に際し、国際社会も注視をしている状況であり、国際連合総会で「人道目的の即時停戦を求める決議」が採択されているが、イスラエルとハマスの交戦は終わる気配がなく、子供や高齢者を含む多くの住民が死傷する報道も絶えず、これ以上の殺戮は許されるものではない。

よって本市議会は、世界平和を希求する「宜野湾市反核、軍縮を求める平和都市宣言」の理念のもと、日本政府に対し、国際社会と連携して、イスラエルとハマス双方が、即時の恒久的停戦と互いの人質と拘束された人々の解放を行うこと及び国際法、国際人道法を遵守することを速やかに実行するよう積極的に働きかけることを、強く要求する。

以上、決議する。

令和 5 年 12 月 22 日

沖縄県宜野湾市議会

あて先：内閣総理大臣、外務大臣